さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

風林火山

2021・7・14

梅雨の時季と重なる球児の夏。以前、高校野球の審判をしていた恩師が、練習試合でジャッジを担当したときの思いを本紙の投書欄に寄せていた▼その試合は開始後間もなく雨が降り始め、やがて本降りに。ボールボーイ係の2人の生徒が泥んこになったボールをぼろ布で丁寧にふき上げ、審判に届けていた▼試合終盤になると、布は泥まみれ。ただ、きれいに磨かれたボールが変わらず届けられているのが気になって恩師が生徒の様子を見ると、2人はぬれたユニホームのボタンを外し、アンダーシャツのおなかのあたりでボールをふき上げていたという▼磨き上げられたボールに野球への純粋な思いが重なり、心が揺さぶられたという恩師。投書の理由を尋ねると「投げた、打った、走ったという、スポットライトが当たるところだけが高校野球ではない。試合を縁の下で支える人はたくさんいる。それを多くの人に知ってほしかった」▼甲子園切符を懸けた球児の夏が幕を開けた。いまだ収束が見通せないコロナ禍。大会は部員や保護者らを除き1～3回戦は無観客、準々決勝以降は感染状況を踏まえての判断になるという▼球場に足を運ぶことはできなくとも、プレーする選手とともに、試合を支える人たちにも思いを寄せたい。「支える側」の物語を想像することは、感染が広がる社会で私たちの暮らしを支えてくれている人を思うことにもつながるはずだ。（有）

（2021 年 7 月 14 日付 山梨日日新聞 1 面）

問1

次の漢字の読み方を書いてください。

・球児　「　　」　・本降り「　　」　・終盤　「　　」

・純粋　「　　」　・切符　「　　」　・無観客「　　」

問2

高校野球の審判をしていたコラム筆者の恩師が、投書を寄せた理由は何ですか。

問3

ボールをふく布が雨で泥まみれになった後、自分のアンダーシャツで一生懸命に磨き上げた白球を審判に届けたボールボーイ係の生徒の思いを想像し、書いてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.